



平成 26 年 5 月 29 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 東 京 衡 機
(旧社名 株式会社テークスグループ)
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 山 本 勝 三
(コード番号 7719 東証第2部)
問 合 せ 先 取 締 役 副 社 長 平 岡 昭 一
(TEL. 042-780-1650)

(訂正・数値データ訂正)「平成 26 年 2 月期第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部
訂正について

当社は、平成 26 年 5 月 12 日付「過年度の有価証券報告書、四半期報告書および決算短信等の訂正に関するお知らせ」にてお知らせしましたとおり、過年度決算短信の訂正作業を進めてまいりました。

このたび平成 25 年 7 月 12 日付「平成 26 年 2 月期第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の訂正作業が完了しましたので、訂正内容についてお知らせいたします。

また、数値データにも訂正がありましたので、訂正後の数値データも送信いたします。

なお、訂正箇所が多数に上るため、訂正前及び訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線____を付して表示しております。

以 上

【訂正後】

平成26年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月12日

上場会社名 株式会社テークスグループ 上場取引所 東
 コード番号 7719 URL http://www.tksnet.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)山本 勝三
 問合せ先責任者 (役職名)取締役副社長 (氏名)平岡 昭一 (TEL)042(780)1650
 四半期報告書提出予定日 平成25年7月12日 配当支払開始予定日 平成 年 月 日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第1四半期の連結業績(平成25年3月1日～平成25年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第1四半期	1,541	9.6	60	60.6	39	27.7	1	△27.5
25年2月期第1四半期	1,405	69.3	37	—	30	—	2	—

(注) 包括利益 26年2月期第1四半期 61百万円(17.8%) 25年2月期第1四半期 52百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
26年2月期第1四半期	円 銭 0.02	円 銭 —
25年2月期第1四半期	円 銭 0.03	円 銭 —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
26年2月期第1四半期	百万円 5,414	百万円 2,031	% 37.5
25年2月期	百万円 5,237	百万円 1,970	% 37.6

(参考) 自己資本 26年2月期第1四半期 2,031百万円 25年2月期 1,970百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年2月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
26年2月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
26年2月期(予想)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
第2四半期(累計)	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,470	△1.1	6	—	△35	—	△57	—	△0.79
26年2月期	5,269	10.3	155	—	71	—	107	—	1.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年2月期1Q	71,337,916株	25年2月期	71,337,916株
26年2月期1Q	24,365株	25年2月期	24,060株
26年2月期1Q	71,313,779株	25年2月期1Q	71,314,006株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成25年3月1日～平成25年5月31日）におけるわが国経済は、政府による経済対策や日本銀行の金融緩和等を背景に、円安の進行や株価の上昇、個人消費の持ち直しなど、景気回復の兆しがみられた一方で、電気料金や原材料価格の値上げなどの懸念材料もあり、先行きについては依然不透明な状況にあります。

このような状況の下、当社グループは、試験機事業では、受注環境が改善の傾向にあり当社単体ならびに子会社の業績は概ね予定どおりに推移いたしました。

住生活事業では、健康関連商品と波形手すりの拡販、中国子会社での中国国内や欧米をターゲットとした家電製品の製造・販売などの取り組みを引き続き進めており、主に中国子会社での売上高の回復がみられました。また、ゆるみ止めナット事業では、主力製品であるハイパーロードナットの市場認知度が向上し、今後高速道路施設等への採用が期待されていますが、当期間は他の商品が販売の中心となり売上高全体としてはやや低調に推移しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高1,541,085千円（前年同期比9.6%増）、経常利益39,214千円（前年同期比27.7%増）、四半期純利益は1,704千円（前年同期比27.5%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります

①試験機事業

試験機事業では、グループ会社相互の連携によるシナジー効果の追求を継続しつつ、国内外の代理店ネットワークの充実による販売強化を進めている中、グループ全体ではまずまずの業績で推移いたしました。

以上の結果、試験機事業の売上高は830,847千円（前年同期比2.5%減）、営業利益149,569千円（前年同期比15.9%減）となりました。

②住生活事業

住生活事業では、一般消費者向けの健康関連商品や前連結会計年度より取り組んでおります波形手すりなどの販売は堅調であり、主に中国子会社の売上高に伸びがみられました。

以上の結果、住生活事業の売上高は647,263千円（前年同期比75.9%増）、営業損失は4,165千円（前年同期は35,832千円の営業損失）となりました。

③ゆるみ止めナット事業

ゆるみ止めナット事業では、NETIS(新技術情報システム)へ主力製品であるハイパーロードナットが登録されたことから、同製品類（ナット、スプリング）の公共事業等への採用は増加しつつありますが、大量売上実現には時間を要している為、当面は他の製品及び商品を当面は中心に販売活動に取り組んでまいります。損益的にはハイパーロードナットの製造原価の低減の諸施策の継続等によって損失の圧縮を図っております。

以上の結果、ゆるみ止めナット事業の売上高は62,975千円（前年同期比65.8%減）、営業損失24,462千円（前年同期は39,297千円の営業損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は5,414,332千円となり、前連結会計年度末に比べ176,694千円増加いたしました。

流動資産は3,542,752千円となり、前連結会計年度末に比べ131,019千円増加いたしました。これは主

に受取手形及び売掛金の増加354,545千円、現金及び預金の減少29,046千円、たな卸資産の減少169,886千円によるものであります。

固定資産は1,871,579千円となり、前連結会計年度末に比べ45,675千円増加いたしました。これは主に工具、器具及び備品の増加39,568千円によるものであります。

流動負債は1,832,275千円となり、前連結会計年度末に比べ38,698千円減少いたしました。

これは主に支払手形及び買掛金の減少39,820千円によるものであります。

固定負債は1,550,341千円となり、前連結会計年度末に比べ153,776千円増加いたしました。これは主に長期借入金の増加155,488千円によるものであります。

純資産は2,031,715千円となり、前連結会計年度末に比べ61,626千円増加いたしました。これは主に為替換算調整勘定59,962千円の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年2月期の連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間は平成25年4月12日付公表の「平成25年2月期決算短信」の記載の業績予想から変更ありません。

また、通期は平成25年6月13日公表の「当社子会社の会社分割および出資持分の譲渡（子会社の異動）ならびに特別利益の発生および業績予想の修正に関するお知らせ」の記載の業績予想から変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	886,523	857,476
受取手形及び売掛金	1,353,669	1,708,214
商品及び製品	<u>423,176</u>	<u>410,111</u>
仕掛品	400,078	245,624
原材料及び貯蔵品	235,356	232,988
繰延税金資産	6,373	10,521
その他	138,939	114,255
貸倒引当金	<u>△32,384</u>	<u>△36,440</u>
流動資産合計	<u>3,411,733</u>	<u>3,542,752</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	<u>302,384</u>	<u>305,821</u>
機械装置及び運搬具（純額）	<u>142,350</u>	<u>147,941</u>
工具、器具及び備品（純額）	<u>79,469</u>	<u>119,038</u>
土地	<u>867,840</u>	<u>867,840</u>
建設仮勘定	79,641	74,032
有形固定資産合計	<u>1,471,685</u>	<u>1,514,673</u>
無形固定資産		
借地権	25,819	24,744
のれん	100,165	94,715
その他	<u>89,698</u>	<u>100,645</u>
無形固定資産合計	<u>215,684</u>	<u>220,105</u>
投資その他の資産		
投資有価証券	12,461	12,447
保険積立金	26,655	27,149
繰延税金資産	16,227	13,604
破産更生債権等	306,831	312,704
その他	62,191	62,599
貸倒引当金	<u>△285,832</u>	<u>△291,704</u>
投資その他の資産合計	138,534	136,800
固定資産合計	<u>1,825,904</u>	<u>1,871,579</u>
資産合計	<u>5,237,637</u>	<u>5,414,332</u>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年 2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年 5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	913,338	873,517
1年内返済予定の長期借入金	420,860	327,208
短期借入金	141,340	153,030
未払法人税等	21,712	35,425
未払消費税等	29,594	26,169
未払金	175,545	195,666
未払費用	66,435	70,628
賞与引当金	20,838	39,511
リース資産減損勘定	28,314	27,777
その他	52,994	83,340
流動負債合計	1,870,974	1,832,275
固定負債		
長期借入金	929,747	1,085,235
再評価に係る繰延税金負債	177,716	177,716
繰延税金負債	43	38
退職給付引当金	258,681	260,591
長期リース資産減損勘定	6,810	—
その他	23,577	26,758
固定負債合計	1,396,575	1,550,341
負債合計	3,267,549	3,382,617
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,713,552	2,713,552
資本剰余金	200,233	200,233
利益剰余金	△1,391,755	△1,390,050
自己株式	△3,630	△3,662
株主資本合計	1,518,399	1,520,072
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	78	69
土地再評価差額金	321,487	321,487
為替換算調整勘定	130,122	190,084
その他の包括利益累計額合計	451,688	511,642
純資産合計	1,970,088	2,031,715
負債純資産合計	5,237,637	5,414,332

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)
売上高	1,405,039	1,541,085
売上原価	1,053,132	1,152,542
売上総利益	351,906	388,543
販売費及び一般管理費	314,389	328,277
営業利益	37,517	60,266
営業外収益		
受取利息及び配当金	654	1,043
賃貸不動産収入	2,727	2,003
業務受託料	2,657	2,657
為替差益	6,359	—
その他	1,088	3,307
営業外収益合計	13,486	9,012
営業外費用		
支払利息	8,990	9,312
為替差損	—	4,037
賃貸不動産費用	4,713	4,067
その他	6,609	12,646
営業外費用合計	20,313	30,064
経常利益	30,689	39,214
特別損失		
会員権評価損	401	—
減損損失	1,184	4,933
特別損失合計	1,586	4,933
税金等調整前四半期純利益	29,103	34,280
法人税、住民税及び事業税	33,131	32,909
法人税等調整額	△6,381	△333
法人税等合計	26,749	32,575
少数株主損益調整前四半期純利益	2,353	1,704
四半期純利益	2,353	1,704

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,353	1,704
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23	△8
為替換算調整勘定	50,006	59,962
その他の包括利益合計	49,982	59,953
四半期包括利益	52,336	61,658
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	52,336	61,658
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (千円) (注) 1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 3
	試験機事業 (千円)	住生活事業 (千円)	ゆるみ止 めナット 事業 (千円)	計				
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	852,608	367,785	184,645	1,405,039	—	1,405,039	—	1,405,039
(2) セグメント間 の内部売上高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	852,608	367,785	184,645	1,405,039	—	1,405,039	—	1,405,039
セグメント利益 (又は損失)	177,860	△35,832	<u>△39,297</u>	<u>102,730</u>	△997	<u>101,733</u>	△64,215	<u>37,517</u>

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デジタル事業等であります。

2. セグメント利益の調整額△64,215千円は基礎的試験研究費などに要した費用および当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (千円) (注) 1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 3
	試験機事業 (千円)	住生活事業 (千円)	ゆるみ止 めナット 事業 (千円)	計				
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	830,847	647,263	62,975	1,541,085	—	1,541,085	—	1,541,085
(2) セグメント間 の内部売上高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	830,847	647,263	62,975	1,541,085	—	1,541,085	—	1,541,085
セグメント利益 (又は損失)	149,569	△4,165	<u>△24,462</u>	<u>120,940</u>	△739	<u>120,201</u>	△59,935	<u>60,266</u>

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デジタル事業等であります。

2. セグメント利益の調整額△59,935千円は基礎的試験研究費などに要した費用および当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

平成26年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月12日

上場会社名 株式会社テークスグループ 上場取引所 東
 コード番号 7719 URL http://www.tksnet.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)山本 勝三
 問合せ先責任者 (役職名)取締役副社長 (氏名)平岡 昭一 (TEL)042(780)1650
 四半期報告書提出予定日 平成25年7月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第1四半期の連結業績(平成25年3月1日～平成25年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第1四半期	1,541	9.6	60	342.2	25	600.6	△7	—
25年2月期第1四半期	1,405	69.3	37	—	3	—	△23	—

(注) 包括利益 年 月期第1四半期 百万円(%) 年 月期第1四半期 百万円(%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
26年2月期第1四半期	円 銭 △0.09	円 銭 —
25年2月期第1四半期	円 銭 △0.32	円 銭 —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
26年2月期第1四半期	百万円 5,566	百万円 2,173	% 39.0
25年2月期	百万円 5,392	百万円 2,124	% 39.3

(参考) 自己資本 26年2月期第1四半期 2,031百万円 25年2月期 1,970百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年2月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
26年2月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
26年2月期(予想)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
第2四半期(累計)	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,470	△1.1	6	—	△35	—	△57	—	△0.79
通期	5,269	10.3	155	—	71	—	107	—	1.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無
- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年2月期1Q	71,337,916株	25年2月期	71,337,916株
② 期末自己株式数	26年2月期1Q	42,365株	25年2月期	24,060株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年2月期1Q	71,313,779株	25年2月期1Q	71,314,006株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成25年3月1日～平成25年5月31日）におけるわが国経済は、政府による経済対策や日本銀行の金融緩和等を背景に、円安の進行や株価の上昇、個人消費の持ち直しなど、景気回復の兆しがみられた一方で、電気料金や原材料価格の値上げなどの懸念材料もあり、先行きについては依然不透明な状況にあります。

このような状況の下、当社グループは、試験機事業では、受注環境が改善の傾向にあり当社単体ならびに子会社の業績は概ね予定どおりに推移いたしました。

住生活事業では、健康関連商品と波形手すりの拡販、中国子会社での中国国内や欧米をターゲットとした家電製品の製造・販売などの取り組みを引き続き進めており、主に中国子会社での売上高の回復がみられました。また、ゆるみ止めナット事業では、主力製品であるハイパーロードナットの市場認知度が向上し、今後高速道路施設等への採用が期待されていますが、当期間は他の商品が販売の中心となり売上高全体としてはやや低調に推移しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高1,541,085千円（前年同期比9.6%増）、経常利益25,552千円（前年同期比600.6%増）、四半期純損失は7,023千円（前年同期は23,504千円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります

①試験機事業

試験機事業では、グループ会社相互の連携によるシナジー効果の追求を継続しつつ、国内外の代理店ネットワークの充実による販売強化を進めている中、グループ全体ではまずまずの業績で推移いたしました。

以上の結果、試験機事業の売上高は830,847千円（前年同期比2.5%減）、営業利益149,569千円（前年同期比15.9%減）となりました。

②住生活事業

住生活事業では、一般消費者向けの健康関連商品や前連結会計年度より取り組んでおります波形手すりなどの販売は堅調であり、主に中国子会社の売上高に伸びがみられました。

以上の結果、住生活事業の売上高は647,263千円（前年同期比75.9%増）、営業損失は4,165千円（前年同期は35,832千円の営業損失）となりました。

③ゆるみ止めナット事業

ゆるみ止めナット事業では、NETIS(新技術情報システム)へ主力製品であるハイパーロードナットが登録されたことから、同製品類（ナット、スプリング）の公共事業等への採用は増加しつつありますが、大量売上実現には時間を要している為、当面は他の製品及び商品を当面は中心に販売活動に取り組んでまいります。損益的にはハイパーロードナットの製造原価の低減の諸施策の継続等によって損失の圧縮を図っております。

以上の結果、ゆるみ止めナット事業の売上高は62,975千円（前年同期比65.8%減）、営業損失38,105千円（前年同期は66,273千円の営業損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は5,566,206千円となり、前連結会計年度末に比べ173,608千円増加いたしました。

流動資産は3,562,851千円となり、前連結会計年度末に比べ130,340千円増加いたしました。これは主

に受取手形及び売掛金の増加354,545千円、現金及び預金の減少29,046千円、たな卸資産の減少170,565千円によるものであります。

固定資産は2,003,355千円となり、前連結会計年度末に比べ43,268千円増加いたしました。これは主に工具、器具及び備品の増加39,247千円によるものであります。

流動負債は1,842,742千円となり、前連結会計年度末に比べ35,497千円減少いたしました。

これは主に支払手形及び買掛金の減少39,710千円によるものであります。

固定負債は1,550,341千円となり、前連結会計年度末に比べ160,576千円増加いたしました。これは主に長期借入金の増加155,488千円によるものであります。

純資産は2,173,123千円となり、前連結会計年度末に比べ48,529千円増加いたしました。これは主に為替換算調整勘定55,592千円の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年2月期の連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間は平成25年4月12日付公表の「平成25年2月期決算短信」の記載の業績予想から変更ありません。

また、通期は平成25年6月13日公表の「当社子会社の会社分割および出資持分の譲渡（子会社の異動）ならびに特別利益の発生および業績予想の修正に関するお知らせ」の記載の業績予想から変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年 2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年 5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	886,523	857,476
受取手形及び売掛金	1,353,669	1,708,214
商品及び製品	443,954	430,211
仕掛品	400,078	245,624
原材料及び貯蔵品	235,356	232,988
繰延税金資産	6,373	10,521
その他	138,939	114,255
貸倒引当金	△32,384	△36,440
流動資産合計	3,432,511	3,562,851
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	301,227	303,425
機械装置及び運搬具（純額）	246,356	251,337
工具、器具及び備品（純額）	81,410	120,658
土地	893,984	893,984
建設仮勘定	79,641	74,032
有形固定資産合計	1,602,621	1,643,438
無形固定資産		
借地権	25,819	24,744
のれん	100,165	94,715
その他	92,945	103,656
無形固定資産合計	218,931	223,116
投資その他の資産		
投資有価証券	12,461	12,447
保険積立金	26,655	27,149
繰延税金資産	16,227	13,604
破産更生債権等	306,831	312,704
その他	62,191	62,599
貸倒引当金	△285,832	△291,704
投資その他の資産合計	138,534	136,800
固定資産合計	1,960,087	2,003,355
資産合計	5,392,598	5,566,206

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年 2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年 5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	914,574	874,863
1年内返済予定の長期借入金	420,860	327,208
短期借入金	141,340	153,030
未払法人税等	21,712	35,425
未払消費税等	29,594	26,169
未払金	177,091	197,350
未払費用	66,435	70,628
賞与引当金	20,838	39,511
その他	85,793	118,555
流動負債合計	1,878,239	1,842,742
固定負債		
長期借入金	929,747	1,085,235
再評価に係る繰延税金負債	177,716	177,716
繰延税金負債	43	38
退職給付引当金	258,681	260,591
その他	23,577	26,758
固定負債合計	1,389,765	1,550,341
負債合計	3,268,004	3,393,083
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,713,552	2,713,552
資本剰余金	200,233	200,233
利益剰余金	△1,184,107	△1,191,130
自己株式	△3,630	△3,662
株主資本合計	1,726,047	1,718,992
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	78	69
土地再評価差額金	278,871	278,871
為替換算調整勘定	119,596	175,189
その他の包括利益累計額合計	398,546	454,130
純資産合計	2,124,593	2,173,123
負債純資産合計	5,392,598	5,566,206

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)
売上高	1,405,039	1,541,085
売上原価	1,069,794	1,165,090
売上総利益	335,244	375,995
販売費及び一般管理費	324,702	329,372
営業利益	10,542	46,623
営業外収益		
受取利息及び配当金	654	1,043
賃貸不動産収入	2,727	2,003
業務受託料	2,657	2,657
為替差益	6,359	—
その他	1,088	3,307
営業外収益合計	13,486	9,012
営業外費用		
支払利息	8,990	9,312
為替差損	—	4,037
賃貸不動産費用	4,695	4,035
その他	6,695	12,696
営業外費用合計	20,381	30,082
経常利益	3,646	25,552
特別損失		
会員権評価損	401	—
特別損失合計	401	—
税金等調整前四半期純利益	3,244	25,552
法人税、住民税及び事業税	33,131	32,909
法人税等調整額	△6,381	△333
法人税等合計	26,749	32,575
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△23,504	△7,023
四半期純損失(△)	△23,504	△7,023

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	<u>△23,504</u>	<u>△7,023</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23	△8
為替換算調整勘定	<u>46,560</u>	<u>55,592</u>
その他の包括利益合計	<u>46,537</u>	<u>55,584</u>
四半期包括利益	<u>23,032</u>	<u>48,560</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>23,032</u>	<u>48,560</u>
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (千円) (注) 1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 3
	試験機事業 (千円)	住生活事業 (千円)	ゆるみ止 めナット 事業 (千円)	計				
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	852,608	367,785	184,645	1,405,039	—	1,405,039	—	1,405,039
(2) セグメント間 の内部売上高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	852,608	367,785	184,645	1,405,039	—	1,405,039	—	1,405,039
セグメント利益 (又は損失)	177,860	△35,832	<u>△66,273</u>	<u>75,755</u>	△997	<u>74,758</u>	△64,215	<u>10,542</u>

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デジタル事業等であります。

2. セグメント利益の調整額△64,215千円は基礎的試験研究費などに要した費用および当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (千円) (注) 1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 3
	試験機事業 (千円)	住生活事業 (千円)	ゆるみ止 めナット 事業 (千円)	計				
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	830,847	647,263	62,975	1,541,085	—	1,541,085	—	1,541,085
(2) セグメント間 の内部売上高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	830,847	647,263	62,975	1,541,085	—	1,541,085	—	1,541,085
セグメント利益 (又は損失)	149,569	△4,165	<u>△38,105</u>	<u>107,297</u>	△739	<u>106,558</u>	△59,935	<u>46,623</u>

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デジタル事業等であります。

2. セグメント利益の調整額△59,935千円は基礎的試験研究費などに要した費用および当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。